

様式第7号（第11条関係）

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年 5月19日

（あて先）

さいたま市長

所在地 さいたま市岩槻区城町2-11-48

団体名 特定非営利活動法人

岩槻・人形文化サポーターズ

代表者氏名 加藤 三郎

令和5年4月17日付け市市協第5-10号で交付決定の通知を受けた令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（一般助成事業・団体希望助成事業）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 交付決定額 | <u>金 910,000 円</u> |
| 2 精算額 | <u>金 767,010 円</u> |
| 3 事業実施報告書 | |
| 4 事業収支計算書 | |
| 5 添付書類 | |

（1）支出を証する書類

（2）事業の成果物、写真、その他事業に関する資料



事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計（A）		(a) + (b)	1,022,683
自己資金額（a）		①～⑥の合計（d）と同額	255,673
団体の自己資金	① 自己資金		63,173
	② 協賛金		130,000
	③		
費用の徴収	④ 参加費	46人×1,000円=46,000円（ワークショップ体験） 33人×500円=16,500円（衣装作り体験）	62,500
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額（b）（助成金収入・100万円以内）		(c)と同額	767,010

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計（総事業費）（B）		(c) + (d)	1,022,683
助成対象経費のうち 助成金限度額を上回らない経費	①		
	② 消耗品費	ワークショップ用資材、イベント参加景品代 (118,083円のうち助成金充当分)	50,000
	③ 印刷製本費	チラシ印刷代 (35,060円のうち助成金充当分)	35,000
	④ 賃借料	節句のぼり旗、音響機材、掲示用鯉のぼりレンタル、テント、イス等 (357,600円のうち助成金充当分)	170,070
	⑤ 謝金・報酬	安全誘導、掲示物設置、撤収、ワークショップ講師、音楽出演者等	362,500
	⑥ 委託料	チラシデザイン3種	60,000
	⑦ 保険料	イベント関係保険	29,440
	⑧ 役務費（通信運搬費等）	地域情報紙掲載2回	60,000
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計（c）		①～⑩の合計（b）と同額	767,010
助成対象経費のうち 助成金限度額を上回る経費	⑪ 印刷製本費	チラシ印刷代 (35,060円のうち助成金限度額を上回る分)	60
	⑫ 賃借料	節句のぼり旗、音響機材、掲示用鯉のぼりレンタル、テント、イス等 (357,600円のうち助成金限度額を上回る分)	187,530
	⑬ 消耗品費	ワークショップ用資材、イベント参加景品代 (118,083円のうち助成金限度額を超える分)	68,083
助成対象外経費 事業に附随して 必要な経費 〔(c)の10%以内〕 事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑭		
	⑮		
	⑯		
	⑰		
	⑱		
	⑲		
	⑳		
自己資金充当経費計（d）		⑪～⑳の合計（a）と同額	255,673

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。



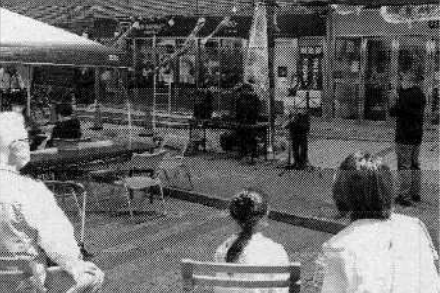

令和5年度マッチングファンド事業実施報告書

団体名

特定非営利活動法人 岩槻・人形文化サポーターズ

事業名称	日本の伝統文化である節句祭りの継承と新しい挑戦	
実施期間	令和 5 年 4 月 ~ 令和 5 年 5 月	
総事業費	1,022,683 円 (内訳は別添事業収支計算書参照)	
内 助成金交付申請額	767,010 円	
事業の目的	*計画書の「1 現状における課題と事業の目的」(この事業は何を目的に設定しましたか?) の記載事項を転記してください	
	今回は五節句の中の「端午の節句」に焦点を当て、端午の節句の本来の目的である「子供の成長を祝う」文化を、親子などを含めた多世代に、楽しみながら広め、端午の節句文化を盛り上げていくこと。さらには、岩槻駅周辺の商店街巡りや街巡りを通じ、岩槻の魅力や文化を市内外に発信し、岩槻に人を集客し、観光客の増加や活性化を目指します。	
事業の実績	事業の具体的な内容	
	いつ	令和 5 年 4 月 29 日 ~ 令和 5 年 5 月 7 日
	どこで	岩槻駅から岩槻人形博物館周辺の商店街
	だれに	こども及び子ども連れの家族
	なにを	五節句の中の、端午の節句に関する催事
	どうした	鯉のぼりを付けた幟旗の設置、クレセントモール上空ロープ鯉のぼり展示、鯉のぼり、兜、鎧制作体験、鯉のぼりくぐり、武者衣装記念写真、手づくり体験仮装まち巡り、参加店でお買い物、福祉こどもフェスタ、キッズダンス、日替り子供遊びを実施
(詳細な内容) 別紙のとおり		
成果		
*事業の結果を表す数値を記載ください(例:参加人数等)。		
イベント累計参加者数 2,100 人		
効果		
*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。 地域、職域、学域が一体化した形でのイベント開催ができた事で今後への期待が膨らんだ。端午の節句イベントの開催を通して節句文化の意義や慈恩寺などの地域文化への認識が深められた。		
事業の評価	*事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。	
	課題としては、長期開催の中で掲示物(鯉のぼり、幟旗)などの安全対策、まち巡りなどの広域イベントからくる事故防止などが課題となった。対策は、毎日の安全巡回確認作業と、まち歩きは保護者同伴を義務付けた。良かった点は、申請当時にぎわい交流館会場での主たるイベント開催は予定できなかったが、その後に了解が得られて3日間の開催にこぎつけ、人形博物館への来場者増加にも貢献できた。評価としては、長期開催ではイベントの目玉が多く作れるので全体として天候に左右されにくく、地域外からの来場者も多く岩槻らしいイベントとの高い評価の声が多く聞かれた。複数の会場設置と商店街を巻き込んだまち巡りを企画したことで点から面のイベントに広がってきた。開智学園生徒(15名)のボランティア参加が子ども連れの家族から非常に喜ばれた。	
今後の展開	*この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか? ※翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。	
	人形博物館、にぎわい交流館、地域商店街等との連携や協働を深め、長期開催の春のイベントにしたい。慈恩寺の子供孫悟空パレードを基にした、さいたま市岩槻発祥の「春のハロウィン」を広域に定着させるような内容の企画を、プロのアドバイスも得られるようにして発展させていきたい。	

事業の内容

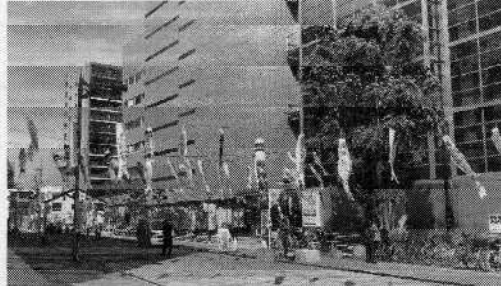
実施時期	労力換算 番号	実施内容
R5.4.18		<ul style="list-style-type: none"> 当団体役員によるイベント実施に会議 (内容) 4/17助成金交付決定通知を受けての役割分担の話し合い
R5.4.19		<ul style="list-style-type: none"> イベント会場の道路使用許可申請 (内容) 岩槻駅前クレセントモール使用のための警察、都市振興の許可
R5.4.20		<ul style="list-style-type: none"> イベント協力、参加団体への説明会 (内容) 4/29～5/7までの日程、会場、内容別のすり合わせ調整
〔駅前会場〕 R5.4.29		<ul style="list-style-type: none"> 福祉子どもフェスタ、手づくり福祉商品販売、音楽演奏 (内容) 岩槻区、見沼区の福祉関係の作業所9施設が参加し、ワークショップや製作品の販売、音楽演奏を行った。 ※大野元博埼玉県知事が丁度岩槻に来ていて、声掛けをして会場で記念写真や挨拶もして頂いた。
		 <p>↑大野県知事が武者に変身</p>  <p>↑クレセントモール会場風景 (駅側から)</p>  <p>↑音楽演奏</p>  <p>↑会場風景 (駅の反対側から)</p> <p>イベント参加者：540名 参加団体：ほとふ館、第1やまぶき、千乃詩、つみ喜、えーる、ふくふく、丸園芸、ささぼし、ポルトス</p>

R5.5/1.2.4.6

※4/30、5/7は
雨天の為中止

・誰でも参加こどもまちあそび

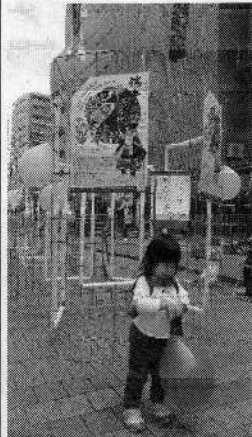
(内容) 日替り組立ネットでのトンネルくぐりと風船あそび



↑クレセントモール会場の風景 (4/29~5/6)



↑風船で遊ぶ子供達の会場風景



↑ネットトンネルくぐり遊ぶ親子

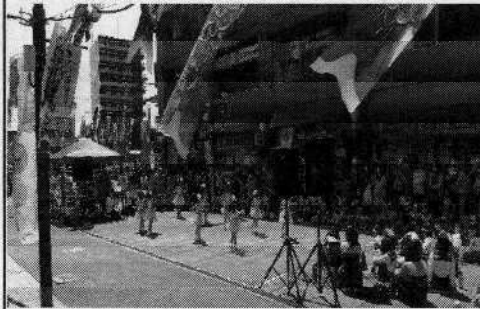
←ジャンケンで勝って風船をもって喜ぶ子ども

イベント参加者数 : 5/1 (55) 5/2 (32) 5/4 (63) 5/6 (35)
計 185 名

R5.5.3

・キッズダンス、子ども縁日

(内容) 区内で活動している子供達のダンス披露



↑会場の風景 (幼稚園児)



↑会場の風景 (小・中・高校生)



↑子ども縁日会場の風景



↑子ども縁日会場の風景

イベント参加者数 : 650 名

R5.5.5

・手作り体験、子ども仮装まち巡り
(内容) 紙相撲体験、被れるかぶと作り、手づくり孫悟空衣装でまち巡り、
参加店専用サービス券でお買い物



↑ 開智学園の生徒達にも手伝ってもらっての孫悟空の衣装づくり風景



↑ 出来上がった手づくり衣装を着て鯉のぼりももらってご機嫌↑



手作り衣装で変身→



↑ 出来上がった手づくり衣装を着てまち巡り

イベント参加者数： 165 名

(にぎわい交流館会場)
R5.5/3.4.5

・端午の節句を家族で体験、ワークショップ、思い出づくり
(内容) 武将に変身記念写真、鯉のぼりくぐり、木目込み兜製作、
彩色兜絵付け体験、和風小物販売



↑木目込み兜製作会場(5/3)



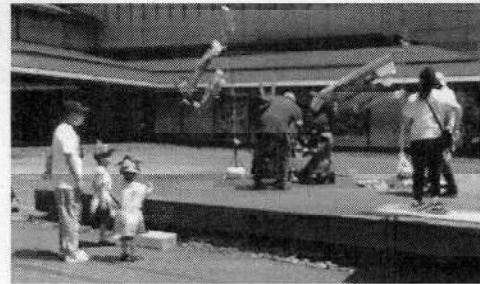
↑ 武将に変身着付け会場



↑彩色兜絵付け会場(5/4)



↑完成した絵付け兜



↑ 武将に変身記念写真撮影会場(5/3～5)



↑鯉のぼりくぐり会場(5/5)

イベント参加者数 : 5/3 (76) 5/4 (110) 5/5 (374) 計 560 名
全体の総参加者数 (2,100 名)

R5.5.18

・イベント報告、反省会